

令和7年11月28日
運輸安全委員会

東日本旅客鉄道株式会社上越線において発生した列車脱線事故 に関する情報提供

運輸安全委員会は、令和7年9月4日に東日本旅客鉄道株式会社上越線において発生した列車脱線事故に関して、現在、調査、分析等を実施中ですが、これまでの事実調査において明らかになった事実情報について、11月28日、国土交通省鉄道局へ情報提供を行いました。

1. 列車脱線事故の概要

発生日時 令和7年9月4日（木） 11時47分頃

発生場所 上越線 後閑駅^{ごかん}～上牧駅間^{かみもく}（群馬県利根郡みなかみ町）

列車 試運転列車

概要 運転士は、後閑駅～上牧駅間を走行中、異音を確認したため停車させ現地を確認したところ、炭水車の1軸（先頭車軸から7軸目）が進行方向左側に脱線していた。

2. 国土交通省鉄道局への情報提供の内容

これまでの事実調査において以下の事実が明らかになり、同様の事象が他の鉄道事業者で生じる可能性があるため、国土交通省鉄道局へ情報提供を行った。

（情報）

本事故が発生した車両の調査において、脱線した蒸気機関車の炭水車の輪軸に顕著な輪重アンバランスが生じていたことが判明した。

また、炭水車の静止輪重管理は行われていなかった。

（別紙参照）

なお、本事故と情報提供の内容との関係は現在調査中であり、本事故の原因等については、今後詳細な調査を行う予定です。

【問い合わせ先】

運輸安全委員会事務局 広報室 松澤、福井
電話 03-5367-5027（直通）

炭水車の輪重測定結果

軸位	第 7 軸		第 8 軸		第 9 軸		第 10 軸	
車輪部位	右	左	右	左	右	左	右	左
輪重 [kN]	OL	0	8.13	OL	43.67	56.30	48.07	53.17

※ 水、重油の積載量は脱線時の状態に合わせた

※ 第 7 軸右及び第 8 軸左は測定レンジ(80kN)超過(Over Limit)

※ 第 7 軸左車輪はレールに接していなかった

